



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年4月24日

上場会社名 スミダコーポレーション株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6817 URL http://www.sumida.com
 代表者 (役職名) 代表執行役CEO (氏名) 八幡 滋行
 問合せ先責任者 (役職名) 代表執行役CFO (氏名) 本多 慶行 TEL 03-6758-2473
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月13日 配当支払開始予定日 平成26年5月28日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	18,647	31.1	524	117.9	344	114.2	246	829.3
25年12月期第1四半期	14,228	15.0	240	14.7	160	△8.8	26	△73.1

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 △272百万円 (-%) 25年12月期第1四半期 1,867百万円 (55.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	10.63	—
25年12月期第1四半期	1.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第1四半期	56,477	14,074	23.2	565.62
25年12月期	56,743	14,510	23.9	583.50

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 13,129百万円 25年12月期 13,543百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	5.00	5.00	5.00	5.00	20.00
26年12月期	5.00				
26年12月期(予想)		5.00	5.00	5.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,200	6.7	2,700	59.0	2,100	89.6	1,300	—	56.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期1Q	23,944,317株	25年12月期	23,944,317株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	732,749株	25年12月期	732,667株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期1Q	23,211,634株	25年12月期1Q	19,211,940株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算説明会の開催)

当社は、平成26年4月25日（金）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の世界経済を見ますと、欧州経済は回復テンポは緩やかではありましたが、着実に持ち直してきました。米国経済は例年にない厳しい寒さのため、一時的な経済指標の低迷が見られましたが、景気は緩やかな拡大を続けています。一方、新興国経済を見ますと、中国では景気先行きへの懸念が高まり、またその他の国でも政治の混迷も相まって経済成長に急ブレーキがかかる等不透明感が強まりました。

当第1四半期連結累計期間の電子部品業界を見ますと、自動車生産が引き続き好調であったことから、車載関連は好調に推移しました。家電製品関連では、スマートフォン、タブレット端末は引き続き好調でしたが、パソコン、テレビ等の低迷は継続しました。

当第1四半期連結累計期間の当社グループはインダストリー分野において産業機器、エネルギー、メディカル・ヘルスケア向けの市場開拓、売上拡大を目指し、その戦略の一つとして新たにスマダパワーテクノロジーを設立し、今後成長が期待できる医療機器関連向けの強化を進めました。

当第1四半期連結累計期間は家電製品関連には回復が見られなかったものの、高級車生産の好調を受け車載関連が北米、日本で堅調であったことに加え、前年同期に比べ円安/米ドル高・ユーロ高に推移したこと等から、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比31.1%増の18,647百万円となりました。営業利益は同117.9%増の524百万円、経常利益は同114.2%増の344百万円となりました。昨年のドイツでの洪水被害の影響等により特別損失として災害による損失116百万円を計上したものの、特別利益として受取保険金171百万円があったこと等から、四半期純利益は246百万円（前第1四半期連結累計期間は26百万円の四半期純利益）となりました。

(報告セグメントの状況)

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントの状況は次のとおりであります。

① アジア・パシフィック事業

アジア・パシフィック事業では、スマートフォン、タブレット端末向け以外の家電製品関連は依然として低調、インダストリー分野もさえない展開だったものの、ABS、スマートエントリー向け等車載関連の需要が好調に推移したことで、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比20.9%増の10,944百万円になりました。セグメント利益は同35.4%増の525百万円となりました。

② EU事業

EU事業は、再生可能エネルギー関連等インダストリー分野が低調であったものの、スマートエントリー、HIDランプ向け等車載関連が好調であったことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比48.9%増の7,703百万円となりました。セグメント利益は同63.6%増の494百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は56,477百万円となりました。流動資産は商品及び製品等が減少したものの、受取手形及び売掛金、仕掛品、原材料及び貯蔵品等の増加により62百万円増加しました。固定資産は機械装置及び運搬具等が増加したものの、建物及び構築物等が減少したことにより320百万円減少しました。これにより、当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末比266百万円減少しております。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は42,402百万円となりました。支払手形及び買掛金等が減少したものの、短期借入金等が増加したことにより、前連結会計年度末比169百万円増加しております。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は14,074百万円となりました。四半期純利益246百万円を計上したものの、前連結会計年度末に比べて円高となったことから、為替換算調整勘定の純資産の部からの控除額が前連結会計年度末比544百万円増加したこと等により、435百万円減少しております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の23.9%から23.2%となり、1株当たり純資産は583円50銭から565円62銭となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末比669百万円減少し、2,862百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果による支出は212百万円（前第1四半期連結累計期間は955百万円の収入）となりました。

たな卸資産の減少による509百万円、減価償却費による768百万円等の資金流入があったものの、売上債権の増加による1,456百万円等の資金流出があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は1,296百万円（前第1四半期連結累計期間は764百万円の支出）となりました。

有形固定資産の取得による1,282百万円等の支出があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は899百万円（前第1四半期連結累計期間は390百万円の支出）となりました。

社債の償還による560百万円、配当金の支払116百万円等の支出があったものの、資金調達により短期借入金及び長期借入金がそれぞれ972百万円、614百万円純増となったこと等によるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成26年2月12日の『平成25年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）』で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

【業績の予想に関する留意事項】

業績予想は、当社及び当社グループが決算発表日現在における将来に関する前提、見通し、計画に基づく予想であり、リスクや不確定要素を含んだものです。従って、今後の事業運営や内外の経済環境の変化、為替レートの変動等様々な要素により、実際の業績が記載の予想数字と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

当社と日本光電工業株式会社及び日本光電富岡株式会社は、当社100%子会社であるSEC株式会社の子会社として平成26年2月25日に設立したスマダパワーテクノロジー株式会社が日本光電工業株式会社および日本光電富岡株式会社の変成器事業を譲り受けることについて、基本合意に達し、平成26年3月31日に向け変成器事業の譲り受けの実行を目指しておりましたが、お客さまへの継続的な安定供給をより確実に行う観点から、両社で慎重に協議した結果、事業譲受の時期を平成26年9月30日に変更することといたしました。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,581	2,907
受取手形及び売掛金	12,840	14,047
商品及び製品	6,082	5,059
仕掛品	1,188	1,318
原材料及び貯蔵品	3,767	3,937
未収還付法人税等	313	253
その他	2,084	2,394
貸倒引当金	△270	△267
流動資産合計	29,588	29,651
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,756	11,631
機械装置及び運搬具	33,880	34,303
工具、器具及び備品	4,748	4,716
土地	1,393	1,381
リース資産	1,166	1,150
建設仮勘定	1,582	1,165
減価償却累計額	△36,391	△36,238
有形固定資産合計	18,136	18,110
無形固定資産		
のれん	2,671	2,524
その他	1,056	1,029
無形固定資産合計	3,727	3,554
投資その他の資産	5,204	5,082
固定資産合計	27,068	26,747
繰延資産	86	77
資産合計	56,743	56,477

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,393	6,086
短期借入金	10,843	11,591
1年内償還予定の社債	770	2,420
1年内返済予定の長期借入金	4,523	5,305
未払法人税等	405	378
その他	4,417	4,166
流動負債合計	27,352	29,948
固定負債		
社債	5,420	3,210
長期借入金	6,335	6,161
退職給付引当金	1,269	1,263
その他	1,855	1,818
固定負債合計	14,880	12,453
負債合計	42,233	42,402
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,143	8,143
資本剰余金	7,956	7,956
利益剰余金	4,836	4,967
自己株式	△1,524	△1,524
株主資本合計	19,412	19,543
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46	44
為替換算調整勘定	△5,914	△6,459
その他の包括利益累計額合計	△5,868	△6,414
少数株主持分	966	945
純資産合計	14,510	14,074
負債純資産合計	56,743	56,477

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成25年1月1日 至平成25年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成26年1月1日 至平成26年3月31日）
売上高	14,228	18,647
売上原価	11,904	15,590
売上総利益	2,324	3,057
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	193	226
従業員給料及び手当	739	946
減価償却費	57	76
研究開発費	266	259
その他	827	1,023
販売費及び一般管理費合計	2,084	2,533
営業利益	240	524
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	2
デリバティブ評価益	106	-
その他	7	3
営業外収益合計	117	6
営業外費用		
支払利息	108	104
為替差損	49	13
デリバティブ評価損	-	28
その他	38	40
営業外費用合計	197	186
経常利益	160	344
特別利益		
固定資産売却益	2	7
受取保険金	-	171
特別利益合計	2	179
特別損失		
固定資産除売却損	8	0
災害による損失	-	116
特別損失合計	8	117
税金等調整前四半期純利益	155	406
法人税等	93	133
少数株主損益調整前四半期純利益	61	272
少数株主利益	35	25
四半期純利益	26	246

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	61	272
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	△1
為替換算調整勘定	1,796	△544
その他の包括利益合計	1,805	△545
四半期包括利益	1,867	△272
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,831	△298
少数株主に係る四半期包括利益	35	25

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	155	406
減価償却費	659	768
のれん償却額	78	93
受取利息及び受取配当金	△3	△2
支払利息	108	104
デリバティブ評価損益（△は益）	△106	28
売上債権の増減額（△は増加）	△242	△1,456
たな卸資産の増減額（△は増加）	233	509
仕入債務の増減額（△は減少）	106	△211
その他	247	△262
小計	1,236	△23
利息及び配当金の受取額	3	2
利息の支払額	△126	△125
法人税等の支払額	△157	△67
営業活動によるキャッシュ・フロー	955	△212
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△738	△1,282
関係会社株式の取得による支出	△0	△0
その他	△24	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△764	△1,296
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△389	972
長期借入れによる収入	580	2,043
長期借入金の返済による支出	△571	△1,429
社債の発行による収入	600	-
社債の償還による支出	△500	△560
配当金の支払額	△96	△116
その他	△12	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△390	899
現金及び現金同等物に係る換算差額	235	△59
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	36	△669
現金及び現金同等物の期首残高	2,557	3,531
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,594	2,862

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額に前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	アジア・ パシフィック事業	EU事業	
売上高			
外部顧客への売上高	9,055	5,173	14,228
セグメント間の内部売上高又は振替高	227	391	619
計	9,283	5,564	14,848
セグメント利益	388	302	690

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	690
全社費用(注)	△449
四半期連結損益計算書の営業利益	240

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

注記すべき事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	アジア・ パシフィック事業	EU事業	
売上高			
外部顧客への売上高	10,944	7,703	18,647
セグメント間の内部売上高又は振替高	590	437	1,027
計	11,534	8,141	19,675
セグメント利益	525	494	1,019

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,019
全社費用(注)	△495
四半期連結損益計算書の営業利益	524

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
注記すべき事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。